

ここでは給付型の奨学金を紹介します。募集要項をよく確認して、自分の留学計画に合ったものを見つけてください。

●静岡大学の支援制度

募集時期は5月・10月で、各部署を通して募集案内します。いずれも人数制限があります。

静岡大学国際交流基金

- 支援対象** 大学間・部局間交流協定に基づく交換留学の派遣学生
- 支援期間** 12か月以内
- 支援額** 月額4万円

未来創成基金

- 支援対象** 大学間・部局間交流協定に基づく交換留学(アジアの大学のみ)の派遣学生
- 支援額** 留学準備金25万円(一括)

●政府の支援制度

海外留学支援制度(協定派遣)

日本学生支援機構(JASSO)の支援制度に静岡大学が採択された年度は、国際連携推進機構において、大学間交流協定に基づく交換留学の派遣学生のうち、翌年度4月以降に留学を開始する学生の中から推薦者を決定します。対象者には各部署を通して連絡します。

- 支援対象** 大学間交流協定に基づく交換留学の派遣学生(前年度のGPAが2.30以上)
- 支援期間** 1セメスター～1年
- 支援額** 月額6万～10万円(留学先の地域による)

●民間団体の支援制度

- 業務スーパージャパンドリーム財団(11月～1月に募集)
- 寺浦さよ子記念奨学会(1月～4月、7月～9月に募集)
- 恵国際交流財団(3月～4月に募集)

これら以外にも外国政府や地方自治体、民間団体の給付型・貸与型の奨学金があります。

1 英語能力試験

英語能力試験の代表的なものとして、TOEFL(iBT・ITP)、IELTS、TOEIC、英検があります。日本ではTOEICと英検が一般的ですが、交換留学の語学条件としてはアカデミック英語の能力を測るTOEFLとIELTSのスコアが求められることがほとんどです。交換留学を希望する学生は、応募時点で語学条件を満たせるように早めに準備にとりかかりましょう。TOEFL ITPは静岡大学でも年3回開催されます。

ILUNOとIVSPIには語学条件はありませんが、留学前後にTOEICを受験し、英語力の伸びを測るといいでしょう。

●英語能力試験の種類

	IELTS	TOEFL iBT ※個人受験 ※コンピューター式	TOEFL ITP ※団体受験 ※マークシート式	TOEIC	英 検
目的	就業・研修・留学に必要な能力を測る	高等教育機関で英語を用いて学業を修めるために必要な能力を測る		日常生活・ビジネス場面でのコミュニケーション能力を測る	英語圏における社会生活に必要な英語能力を測る
リーディング	○	○	○	○	○
リスニング	○	○	○	○	○
ライティング	○	○	○		○
スピーキング	○	○			○
時間	約2時間45分	約3時間	約1時間55分	約2時間	級によって異なる
受験料	25,380円	235USドル	4,700円	5,725円	級によって異なる
申し込み方法	オンライン	オンライン	静大生協	オンライン	オンライン・書店

●英語能力レベル比較表

主な英語力測定試験のスコア換算表です。それぞれの試験の目的や内容、受験対象者も異なり、単純にスコアを他の試験に換算することはできませんので、参考までにご覧ください。

レベル	IELTS	TOEFL iBT ※個人受験 ※コンピューター式	TOEFL ITP ※団体受験 ※マークシート式	TOEIC	英 検
特級	9	118-120	673-677	-	
	8.5	115-117	670	-	
上級	8	110-114	660-667	-	
	7.5	102-109	630-6557	970-990	
	7	94-101	600-627	870-970	1級
中上級	6.5	79-93	577-597	820-870	
	6	60-78	550-573	740-820	準1級
中級	5.5	46-59	521-549	600-740	
	5	35-45	500-520	550-600	2級
	4.5	32-34	470-499	500-550	
初中級	4	-31	450-469	450-490	準2級
	3.5		400-449	300-440	
	3		391-399	291-299	3級
初級	2.5		390	270-290	
	2		350-389	260-269	4級
	1.5			100-259	5級

2 国際連携推進機構が提供している学習機会

国際連携推進機構は様々な英語学習や国際交流の機会を提供しています。

●TOEFL対策説明会(6月・12月)

国際教育交換協議会(CIEE)のスタッフがテストの概要や英語勉強法を紹介します。

●TOEFL勉強会(6月)

大学教育センター所属のネイティブの先生がスピーキングとライティングの勉強・練習方法を教えます。

●オンライン海外研修プログラム

海外渡航することなく研修に参加します。多様な学修の機会として、留学前の準備コースとしても活用できます。(単位認定あり)

●スチューデントアンバサダープログラム(英語プログラム)

世界に目を向ける・国際的な視野を持つきっかけを作る活動を企画、実施するプログラムです。留学生と日本人学生と一緒に「自分たちの思いを込めたSDGs」をテーマにグループ活動を行います。プログラムと並行して補足授業を受けることで、単位を取得することもできます。

●グローバル・リーダーシッププログラム(日本語プログラム)

SDGsに関する講義やディスカッション等を通じ、SDGs達成に向けた取組みについて考え、それを実行できるリーダーシップを養う。大学生と高校生の共同プログラムです。

●国際交流

・国際交流ラウンジ

国際的な活動や国際交流、言語学習ができるオープンなスペースです。English Loungeなど、様々なイベントを実施しています。気軽に遊びにきてください!

・静岡キャンパス国際交流ラウンジ

場所:静岡キャンパス 共通教育A棟4階405-2

時間:月曜日～金曜日 12:00～17:00

(日によってラウンジのメニューや開閉時間が異なるので、詳しくはHPやラウンジのinstagramで確認してください。)



・浜松キャンパス国際交流ラウンジ

場所:浜松キャンパス 工学部7号館109

時間:月曜日～金曜日 9:00～17:00

TOEIC対策講座(金曜日・オンデマンド配信)

TOEICスコアアップを目的としたオンデマンド学習です。前期・後期 開講

English Lounge(前期:月・水曜日 後期:水・木曜日 いずれも授業日 12:00～13:30)

ネイティブ英語教員によるアットホームな英会話レッスンが行われています。

国際交流イベント(不定期)

学生スタッフが企画運営するイベントや学内外のゲストスピーカーによる語学学習や異文化理解に関する講演が行われています。

●ENGLISH COUNSELING

日時:毎週月曜日・金曜日

国際連携推進機構専任教員による英語カウンセリングを実施しています。国際学会等でのプレゼンテーションや論文(理系)の書き方などの指導を1回30分で受けることができます。興味のある学生は国際交流課に連絡してください。

3 留学を目指す学生に勤める教養科目

●グローバル・アジア特別教育プログラム(IB・ABP副専攻科目)

所属する学部・学科の科目にとどまらず、自身の専攻以外に興味のあるテーマに沿った科目を横断的に学ぶ制度です。グローバルな課題やアジアに関連した話題を留学生とともに国際経験豊かな教員から学ぶことができます。

<https://www.abp.icsu.shizuoka.ac.jp/student/>

●英語科目

英語の能力を高めるためには、教養英語科目の履修が欠かせません。以下の履修パターンはあくまで一例ですが、参考にして自分の履修プランを立ててください。選択科目の場合、同一科目でも内容が異なりますので、シラバスを参考にして登録するクラスを選んでください。なお、1年次後学期以降の選択科目は履修条件があります。

2020年度入学(2020年度1年生用)履修例: 2年次後学期を終えて留学する場合

1年次前学期	1年次後学期
「英語コミュニケーション」[必修] 「ESP I (留学)」[選択] TOEICで500点以上を目指す	下記5科目から2科目を履修 「ESP II (地域)」[選択] 「上級英語 B」[選択] 「中級英語 B」[選択] 「総合英語II A」[選択] 「総合英語I A」[選択]
2年次前学期	2年次後学期
下記4科目から1科目を履修 「上級英語 C」[選択] 「中級英語 C」[選択] 「総合英語II B」[選択] 「総合英語I B」[選択]	「アカデミックイングリッシュ」[選択] かつ 下記4科目から1科目を履修 「上級英語 D」[選択] 「中級英語 D」[選択] 「総合英語II C」[選択] 「総合英語I C」[選択]
集中講義	
「英語インテンシブ A」[選択] 「英語インテンシブ C」[選択]	「英語インテンシブ B」[選択] 「英語インテンシブ D」[選択]

※赤字による科目は特に推奨されます。(工学部では「アカデミックイングリッシュ」の扱いが異なります。「全学教育科目履修案内」を参照すること)

※英語力をさらに高めるため、留学後も英語学習を継続しましょう。英語特別副専攻プログラムに参加して、当該プログラムを修了することが推奨されます。

3年次	
「ビジネスイングリッシュ」[選択]	「総合英語III」[選択]

※選択科目には、履修条件があります。

「ESP I (留学)」: 「英語コミュニケーション」の中級または上級クラスに属す

「ESP II (地域)」: TOEIC500点以上

「中級英語B・C・D」「総合英語IA・B・C」: TOEIC500点台

「上級英語B・C・D」「総合英語IIA・B・C」: TOEIC600点以上

「英語インテンシブA・B・C・D」「アカデミックイングリッシュ」「ビジネスイングリッシュ」:

TOEIC600点以上

総合英語III: TOEIC700点以上